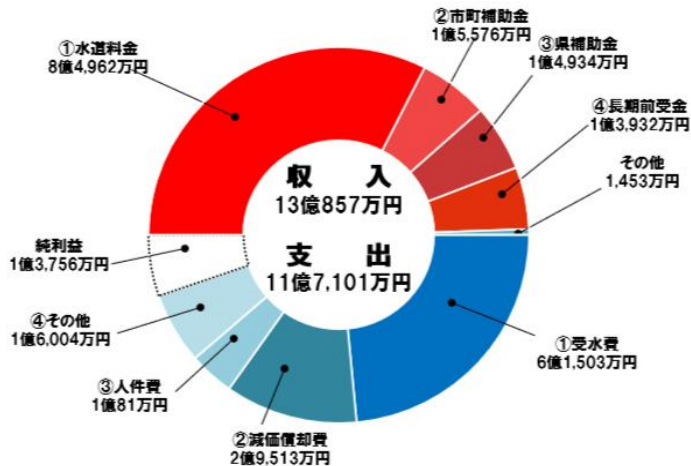


令和4年度決算 ～八匠水道企業団のお金の流れ～

収益的収支

水道水を届けるための単年度の経営活動

水道料金や補助金などの収益と、お客様に水道水を届けるための費用。

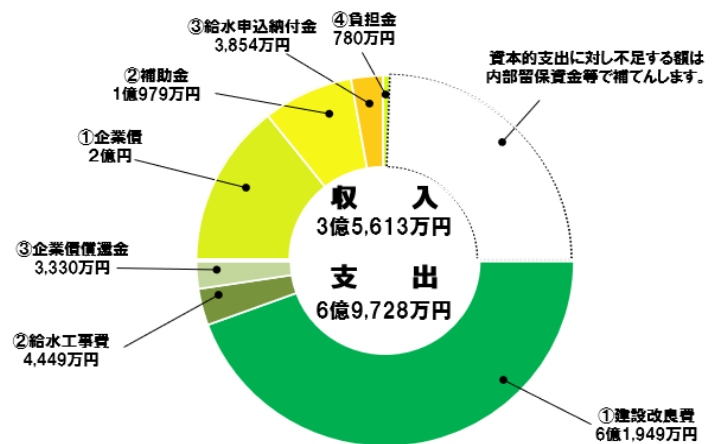


- * ①お客様からいただく水道料金
 ②構成市町(匠瑤市、横芝光町)からの補助金
 ③千葉県からの補助金
 ④長年使う水道施設等の工事にかかる財源を、一括でなく耐用年数で割って1年ごとに収益化したもの
 ①九十九里水道企業団から受水する(水を買う)費用
 ②長年使う水道施設等の工事費や資産購入額を、一括でなく耐用年数で割って1年ごとに費用化したもの
 ③水道事業を行う職員などの人件費
 ④水質検査やシステム機器保守管理などの費用等

資本的収支

将来に備えた設備投資など

借りたお金(企業債)の返済や、古くなった水道管の更新、新しい水道施設を作るための収支など。



- * ①水道施設を作るために国等から借りるお金
 ②国からの補助金
 ③新たに水道管を引くときなどにお客様からいただく給水申込納付金
 ④消火栓設置などの工事負担金
 ①水道施設を新設、更新するための費用
 ②給水管の工事費など
 ③水道施設を作るために借りた企業債元金の返済

※収入から支出を引いた不足額は減価償却費などの現金支出を伴わない内部留保資金で補てんしました

●公営企業会計とは

八匠水道企業団は公営企業会計という、お客様からいただいた水道料金などで費用を賄う「独立採算制」を基本とした会計により運営しています。

お客様から料金をいただき、
お客様へサービス還元するという目的

●二つの決算収支

水道事業は長年継続して行う公営事業なので、将来の経営状況を正確に判断するため

- 「単年度の経営収支を見る・・・「収益的収支」と、
 「将来に渡る長期的な収支を見る・・・「資本的収支」

の二つの予算・決算に分かれています。

何十年先の資産管理など、将来に続く経営を考え
計画的に水道事業を行う目的

お金の流れと課題

【九十九里地域水道企業団】



受水する
(水を買う)

【八匠水道企業団】



水道管などの
整備や管理

【工事業者、委託先など】



老朽管増
→計画的な更新・耐震化

【お客様】



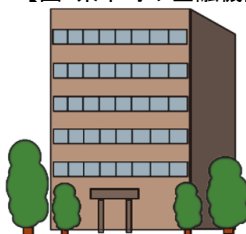
水道料金、給水申込納付金をお支払いいただく

人口減→収入減

補助金等を受ける、
資金を借りる

お金を返す

【国・県市町や金融機関】



●お客様の水道料金で支えられています

円グラフを見てもわかるように、水道の経営はお客様からいただく水道料金と納付金、県市町からの補助金によって支えられています。

しかし、今後は人口減少が進むと考えられ、給水量の低下により給水収益は減少傾向が続くと予想されています。

●課題に向かって！ より安全・安心の水道を

企業団設立から49年が経過し、創設期に布設した配水管などの水道施設は老朽化が進んでいます。

給水収益等の収入は、今後も減少傾向が進むと予想されていますが、常に安定した安全・安心な水を送るための管理体制を確保し、災害に備えた施設の計画的な更新・耐震化が必要です。

お客様からいただいた料金等を基に、より安心の水道へとサービスの還元ができるよう、これらの課題に取り組んでいきます。